

年度	2022	開講学期	前期集中	単位数	1	時間割コード	A911
授業科目名	農場特別実習			担当教員名	渡邊 学		
授業科目名：英語	Special Farm Practicum						
重複科目名							
セット科目名							
開講情報		曜日	時限	時間割コード		【凡例】 ：当該科目 ：同時に履修すべき 科目（セット科目）	
				A911			
主な対象学生	農学部 植物生命科学科 3 / 農学部 食料生産環境学科 食産業システム学コース 3						
科目の情報	科目の種別	専門教育科目	科目番号	APB323B			
主な使用言語	Japanese						
履修上の条件	8月1日（月）～5日（金）に実施する。履修希望者数が定数を超えた場合、農場実習 の履修者を優先する。すべてに日程に参加できること。宿泊または日帰りで実施になるか、7月頃に判断する。日帰りの場合、時間帯は8：30～16：30である。						
担当教員情報	氏名（カナ）	渡邊 学（ワタベ マナブ）					
	担当教員名（英語）	WATANABE Manabu					
	所属	農学部					
	常勤・非常勤						
	研究室	農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター滝沢農場					
	公式サイト	岩手大学 研究者総覧：http://univdb.iwate-u.ac.jp/html/407_ja.html researchmap：https://researchmap.jp/read0195900					
	個人サイト						
相談可能時間	メールにて連絡すること。						
他の担当教員	由比 進						
キーワード	農作業、収穫、加工、トラクター走行、販売実習						
学位授与方針との関係	この科目は植物生命科学科および食料生産環境学科の学位授与方針「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」の達成に寄与します。			学位授与の方針			
				知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現
				20%	20%	20%	40%
授業の目的	夏季休暇の5日間で、水田、畑、果樹の管理、収穫作業、ジャム加工などを実習し、農作業を通して、夏期の農業の一端を経験させる。						
到達目標	水田、畑、果樹の管理、収穫作業、ジャム加工などの作業工程が理解できるようになる。受講生相互の協力と人格を尊重する感性を醸成する。						
授業の概要	教員、技術職員から作業の主旨の説明を受け、作業を行う。						
実務経験の有無と授業内容への反映							
授業の形式	班単位で圃場における作業を通して技術を習得する。						
授業時間外の学習/予習・復習	夏期における農作物の栽培管理を調べておく。						
詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）							
回/週	授業内容			予習・復習			備考
1	水田における慣行栽培と直播栽培の生育比較			水田の慣行栽培と直播栽培の作業体系を調べておく。			
2	畑作物の管理、収穫、調整			畑作物における作目ごとの収穫適期、調整法、貯蔵法を調べておく。			
3	果樹の管理、ブルーベリーの収穫			果樹の雑草管理とブルーベリーの収穫適期の判別基準を調べておく。			
4	除草，防鳥対策			畑作物栽培における雑草害について調べておく。			
5	ブルーベリージャム加工			ジャム加工の原理を調べておく。			
6	農業機械の操作習得			畑地における農業機械での管理作業を調べておく。			
7	農産物の販売実習			実習を通して収穫、調整した農産物の特性を調べ、消費者に対する農産物の説明方法を考えておく。			
8	夏季作業に習熟するため同一内容が繰り返し行われる。			上記に示した各種農作物の栽培特性、管理作業等について調べておく。			
9	夏季作業に習熟するため同一内容が繰り返し行			上記に示した各種農作物の栽培特性、管			

9	われる。	理作業等について調べておく。				
10	夏季作業に習熟するため同一内容が繰り返し行われる。	上記に示した各種農作物の栽培特性、管理作業等について調べておく。				
11	夏季作業に習熟するため同一内容が繰り返し行われる。	上記に示した各種農作物の栽培特性、管理作業等について調べておく。				
12	夏季作業に習熟するため同一内容が繰り返し行われる。	上記に示した各種農作物の栽培特性、管理作業等について調べておく。				
13	夏季作業に習熟するため同一内容が繰り返し行われる。	上記に示した各種農作物の栽培特性、管理作業等について調べておく。				
14	夏季作業に習熟するため同一内容が繰り返し行われる。	上記に示した各種農作物の栽培特性、管理作業等について調べておく。				
15						
16						
17						
18						
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点			
			関心・意欲	知識・理解	技能・表現	思考・判断
	平常点	100%	○	○	○	○
	レスポンスカード	0%				
	小テスト	0%				
	課題・レポート	0%				
	期末テスト	0%				
評価の基準（具体的に）						
実習期間（5日間）の作業への取り組み意欲、技術習得力、統率力から評価する。						
履修における留意点	当該実習は宿泊を伴う集中実習であり、受講期間はもちろん、受講前の体調管理について充分留意すること。受講前には実習内容とともに期間中の生活に関する説明会を開催する。					
教科書 / 教材						
参考文献						
コースリザーブ図書						